



2024年11月12日

各 位

会社名 株式会社イーディーピー
代表者名 代表取締役社長 藤森 直治
(コード番号：7794、東証グロース市場)
問い合わせ先 代表取締役副社長 兼 総務部長 高岸 秀滋
(TEL 06-6170-3871)

通期連結業績予想並びに通期個別業績予想の修正に関するお知らせ

当社は本日開催した取締役会において、最近の業績動向等を踏まえ、2024年5月10日に公表した2025年3月期（2024年4月1日～2025年3月31日）の通期連結業績予想並びに通期個別業績予想を下記のとおり修正しましたので、お知らせいたします。

記

1. 2025年3月期通期連結業績予想の修正（2024年4月1日～2025年3月31日）

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	親会社株主に 帰属する 当期純利益 (百万円)	1株当たり 当期純利益 (円 銭)
前回発表予想 (A)	2,362	274	263	180	13.70
今回修正予想 (B)	未定	未定	未定	未定	未定
増減額 (B-A)	—	—	—	—	
増減率	—	—	—	—	
(ご参考)前期実績 2024年3月期	757	△213	△97	△111	△8.48

(注) 当社は、2025年3月期第1四半期決算より連結決算へ移行したため、上記表の2024年3月期の業績（実績）は、当社のみ単体決算の業績となっております。

2. 2025年3月期通期個別業績予想の修正（2024年4月1日～2025年3月31日）

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	当期純利益 (百万円)	1株当たり 当期純利益 (円 銭)
前回発表予想 (A)	1,650	37	29	53	4.04
今回修正予想 (B)	未定	未定	未定	未定	未定
増減額 (B-A)	—	—	—	—	
増減率	—	—	—	—	
(ご参考)前期実績 2024年3月期	757	△213	△97	△111	△8.48

3. 通期連結業績予想並びに通期個別業績予想修正の理由

2025年3月期の通期連結業績予想並びに通期個別業績予想につきましては、2024年5月10日に公表しました「2024年3月期 決算短信〔日本基準〕（非連結）」並びに「連結決算への移行に伴う連結業績予想の公表及び中期経営計画策定に関するお知らせ」に示した通期連結業績予想並びに通期個別業績予想を取り下げ、未定といたします。

当社はLGD（Laboratory Grown Diamond：人工宝石）分野の状況変化に対応するため、2024年1月にエス・エフ・ディー株式会社（以下、「SFD」という。）を設立、2024年8月9日に公表しました「（開示事項の経過）当社及び当社子会社による子会社（孫会社）設立に関するお知らせ」のとおり、2024年7月にSFD India Private Limited（以下、「SFD India」という。）の設立が完了し、これらの企業を合わせ、従来販売して来た種結晶に加え、原石や宝石の販売も進める計画です。

原石を当社が製作し、SFDへ販売し、その原石を使った宝石への加工をSFD Indiaが外注することを、進め方の基本と考えております。これらの組織や体制を確立するため、人材を確保してまいります。また、SFDは販売の体制を持つことも必要で、早急に体制を整備してまいります。

また、2024年8月9日に公表しました「当社及び当社子会社による子会社（孫会社）設立に関するお知らせ」のとおり、ベルギーに現地法人を設立して欧米での販売拠点として運営を開始することを準備しております。

その他、ダイヤモンドデバイスの開発は急速に進んでおり、世界中の研究機関からの様々な要求に対して、基板やウエハを供給しています。今後、2インチウエハの実用化を目標として、単結晶大型化やモザイクウエハの開発を進めてまいります。

上記のとおり、当社グループとして種結晶偏重のビジネス状況を変えるため、SFD、SFD India、ベルギー現地法人による宝石販売に向けての手続きを行っている最中です。

しかし、2024年7月にSFD Indiaの設立を完了しましたが、許認可等に時間を要し、当中間連結会計期間末時点では事業を開始するに至らず、現時点で事業開始時期を見通すことが困難な状況であり、そのため、2025年3月期の通期連結業績予想並びに通期個別業績予想を合理的に算定することが難しい状況です。

上記状況から、2025年3月期の通期連結業績予想並びに通期個別業績予想につきましては、2024年5月10日に公表しました「2024年3月期 決算短信〔日本基準〕（非連結）」並びに「連結決算への移行に伴う連結業績予想の公表及び中期経営計画策定に関するお知らせ」の通期連結業績予想並びに通期個別業

績予想を一旦、取り下げ、未定といたします。

今後、2025年3月期の通期連結業績予想並びに通期個別業績予想の合理的な算定が可能となりましたら、速やかに開示いたします。

なお、当連結会計年度に計画しました資金調達は順調に推移しているため、中期的には必要な開発投資や現地法人の運営はスムーズに進められると考えております。LGD関連商品については、現地法人や日本での加工体制の構築を進めてまいります。また基板・ウエハの開発も順調であり、早期に売上に結びつくように進めてまいります。このような状況を鑑み、現時点では2024年5月10日に公表しました中期経営計画の2026年3月期及び2027年3月期の数値目標に変更はありません。

以上